

安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略

数値目標・重要業績評価指標の進捗状況について【評価対象：令和元年度】

1. 進捗管理の趣旨

総合戦略は、計画期間中の進捗管理を毎年度行い、評価・検証の結果に応じて、以後の取組みを見直すこととしています。第1期5か年の最終年である令和元年度の進捗の概要は次のとおりです。（詳細は別紙資料をご覧ください。）

2. 戦略に掲げた62項目の成果指標について

第1期総合戦略では、施策等の進捗状況を客観的に把握・評価するため、以下の成果指標を設定しています。

- ・基本目標として掲げた「数値目標」・・・9項目
- ・各種施策を効果検証するための「重要業績評価指標」(KPI)・・・53項目

3. 進捗状況の判定方法

評価指標ごとの進捗状況の目安として、令和元年度における目標値と実績値を比較し、次のとおり区分しています。※進捗割合＝目標値／実績値

「順調」：目標値以上	「概ね順調」：80%以上100%未満
「努力を要する」：80%未満	「未確定」：統計の未公表等の理由により把握できないもの

4. 令和元年度進捗区分一覧

進捗区分 基本目標	順調 達成率100%以上	概ね順調 達成率80%以上	努力を要する 達成率80%未満	未確定	計
新たな雇用を生み出す	8 (44.4%)	3 (16.7%)	7 (38.9%)	0	18
若者や女性が活躍できるまちをつくる	6 (50%)	1 (8.3%)	5 (41.7%)	1	13
安心して子育てできるまちをつくる	7 (63.6%)	2 (18.2%)	2 (18.2%)	0	11
いきいきと暮らせるまちをつくる	9 (52.9%)	5 (29.4%)	3 (17.6%)	3	20
計	30 (51.7%)	11 (19.0%)	17 (29.3%)	4	62
(参考) 平成30年度	32 (60.4%)	12 (22.6%)	9 (17%)	9	62

※（ ）は、現時点で把握できている成果指標に占める進捗区分の割合です。

数値目標及び重要業績評価指標（KPI）の「70.7%」が、「順調」又は「概ね順調」の判定結果となりました。

一方で「努力を要する」の判定結果になった項目が増加した主な要因としては、総合戦略策定時の目標の設定にあたり、

- ・5か年の計画期間の後年度になるほど、より高い目標を設定し達成を目指している指標が多いこと、
- ・同じく策定時からの状況変化により目標達成が困難になってしまった指標があること、
- ・計画に沿って取組を進めたものの結果が実績値に直結しなかった指標があること、

などであり各指標の内容を個別に確認すれば、着実に実績が積みあがっていることから、それぞれの基本目標に対し、一定の効果は創出できたものと考えられます。